

課題番号3

課題名	重点課題2 農業を新たな「仕事」にできる機会の拡大 南河内いちごの楽園プロジェクトにおける新規就農者育成の取組	
対象： いちごの新規就農希望者6名		計画期間：H29～33 事務所名：南河内農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果
①いちごアカデミーによる新規就農者の確保育成	①講習会および農家ほ場3か所での実習 ②アカデミー受講生への就農支援 ③各種就農相談への対応	①いちご新規就農者5名(うち就農見込み4名) ②いちごアカデミー継続開催の体制確立 ③関係機関の役割明確化と就農に向けた支援(農地マッチング、アカデミー開催、就農相談対応等)の体制確立

総合評価 (コメント)
<p>A : 4名 B : 3名</p> <p>■栽培技術、農地、資金面、さらに販売面まで考えて支援活動を行っており、就農者からすると大変心強い。</p> <p>■幅広い機関と一緒に就農者を支援していることが評価できる。</p> <p>■当初の予定通りの目標を達成しており、地域が限定されているが活動成果を上げていると判断できる。</p> <p>■地域の人達との摩擦低減や役割分担など新規就農が地域に溶け込めるような、さらなるサポートが課題。</p> <p>■「地域の活性化」とは何かということ、さらにブレイクダウンして具体的な活動として盛り込み、部署の壁を越えた大プロジェクトに育てて欲しい。</p> <p>■高齢化、担い手不足の中で農外からの新規就農者は地域農業を継続する上で重要な課題であり、今後も前向きに普及活動を進めていただきたい。</p>

評価 A:おおむね適切である。 B:部分的に検討が必要である。 C:見直しが必要である。

普及指導計画への反映状況等
<p>■本課題については、関係機関との連携が極めて重要なため、引き続き、役割分担を行いながら総合的な支援に取り組んでいく。</p> <p>■地域との調和に配慮しながら、さらなる新規就農者の確保・育成取り組み、いちごを求めて産地を訪れる人を増やして、地域の活性化につなげていく。</p> <p>■新規就農者育成の取組に加え、引き続き、地域ブランドいちごのPRなど、地域活性化につながる取組を推進していく。</p>